

入選 高学年の部 ありがとうおじいちゃん

東京都
豊島区高松小学校 四年

菊池 純

「じゅんちゃん、ちがう色がさいているよ。」おじいちゃん
の大きな声が聞こえます。ほくは、おじいちゃんが毎
年育てている朝顔を見に、急いで下に行きます。いつも
ピンク色の花だけだったのに、今年は同じ種から、むら
さき色と青色の花がさきました。

「不思議だね。どうしてだろうね。」と、ほくは聞きます。
「きれいだなあ。すごいだろ。」と、おじいちゃんは自まん
気です。ほくの質問の答えにはなっていないませんが、とても
うれしそうです。朝顔が大好きなんです。おじいちゃん
は、なぜ朝顔が大好きなのでしょう。いつから育てている
のでしょうか。

ほくはおじいちゃんといっしょに住んでいます。ほくが
ピアノの練習をしていると、どこからかはく手が聞こえ
ます。おじいちゃんです。まちがえてもはく手をしてく
れます。上手にひけると大きいはく手をしてくれます。
近所に聞こえていそうではずかしいです。

おじいちゃんは、よくほくを探しに二階に上がつてき
ます。

おじいちゃんの足音はすぐにわかるので、ほくは急いで
かくれます。ほくは小さい時、いつも丸いふわふわのクッ
シヨンの下にかくれました。おじいちゃんはそのクッシヨ

を必ず、持ち上げてみます。ほくは、もうそんなに小さ
い場所にかくれることはできないのに、一度は持ち上げま
す。ほくはおかしくてふき出してしまいます。そして見
つかってしまいます。

最初のほうにさいたアサガオの種をとりながら母に聞き
ました。

「おじいちゃんは どうして朝顔が好きなのかな。いつか
ら育てているのかな。」
母の返事にびっくりしました。おじいちゃんが最初に
育てた朝顔は、ほくが一年生の時に育てた朝顔の種から
だったのです。ほくは、すっかりわすれていました。

「ほくが育てた朝顔の種です。来年までください。」
という手紙といっしょにわたしたそうです。ほくは四年
生になったので、今年の朝顔は四代目だったのです。来
年は植木ばちがきつと六つになるので、いっしょに手伝う
つもりです。どんな色がさくか楽しみです。なぜ、ちが
う色の花がさくのか調べて、教えてあげようと思ってい
ます。

おじいちゃん、ほくの朝顔を大切に育ててくれてあり
がとう。ほくのこと大切にしてくれてありがとう。
これからもずっとほくのことを見守ってください。